軽井沢東　磯部温泉
舌切雀のお宿　ホテル磯部ガーデン
TEL027-385-0085
〒379-0127 群馬県安中市磯部 1-12-5　https://www.isobesuzume.co.jp
お車で／上信越道 松井田妙義ICより10分、軽井沢へ30分
新幹線で／北陸新幹線 安中榛名駅より車で20分
JR信越本線 高崎駅→磯部駅18分!!　磯部駅より徒歩5分

ふくしま 磐梯熱海温泉 ホテル華の湯
楽しく！心躍るダイニングへグレードアップ！
巡りながら味わう！「ツアービュッフェ」
入口を入るとそこにはオープンキッチン、地場産館など産地・鮮度・旬にこだわった豊富なビュッフェゾーンが広がります。

温泉コンベ宴（エン）ション

豊富な実績、様々なMICE（マイス）に対応いたします。
ふくしま磐梯熱海温泉 ホテル華の湯
〒963-1387 福島県郡山市熱海町熱海五丁目8-60
024-984-2222
東京案内所 TEL03-5826-4893 【予約受付時間】9:00-18:00
Japan. Free Wi-Fi　全館フリーWi-Fiの快適環境!
栄楽館グループ
栄楽館　楽山　ASAKASO 浅香荘

観光経済新聞チャンネル

観光経済新聞社は3日、観光業界の識者を招いてのオンラインセミナー「観光経済新聞チャンネル」の第33回配信を行った。オンラインスナック横丁文化、スナック女子代表の五十嵐真由子氏が、「地域の夜間経済に新たな価値を！日本のスナック文化を活用したナイトタイムエコノミー活性化の秘訣」をテーマに講演した。

五十嵐氏は、全国に約10万軒あるスナックを

総合

ナイトタイムエコノミー
スナックで地域活性化
オンラインスナック横丁文化 五十嵐氏が講演

五十嵐氏が講演した

「地域に根差した観光資源」と位置付け、夜間の観光コンテンツ拡充に課題を抱える地域にとって、有効な手段になり得ると強調。特に、五十嵐氏が展開する外国人観光客やZ世代を対象とした「スナックツアー」は、地域住民との交流ができる体験として高評価を得ているという。

ツアーには研修を修了した「スナックガイド」が同行し、多言語対応や文化紹介、マナーの橋渡しを担う。五十嵐氏は水戸市や神戸市での成功事例を紹介し、複数のスナックを巡る仕組みが地域の回遊性向上や夜間の滞在時間活用に寄与することを示した。

また、「スナックのママのコミュニケーション能力にこそ価値がある」と述べ、それが高付加価値化につながると説明。ラグジュアリーホテルと連携し富裕層向けにプラン展開しているほか、バス会社と連携した「移動型スナック」、社内交流促進を目的とした「オフィススナック」など、企業連携による展開も進んでいることも明かした。

次回は4月17日午後1時から、narrative代表取締役の大久保泰佑氏を招き、「文化財と地域資源を活用した持続可能な観光まちづくり」をテーマに講演を行う。視聴は無料で、事前申し込み制。開催前日の午後5時まで、専用フォーム＝QRコードから受け付ける。

CRM機能提供 観光施設を支援
JTB

JTBグループで観光施設向けウェブチケット販売システムの提供を行うグッドフェローズJTBと、ICTを活用して観光施設の省力化を後押しするグッドフェローズ（東京都武蔵野市）は、観光事業者向けの電子チケット販売システム「Webket」に、新たな顧客管理・販促支援機能を追加した。

追加した「Webketセルフプロモーション」では、施設がゲストに直接アプローチ可能なメールマーケティングツール「リマインドメール」「サンクスメール」「CRMメール機能」などで、効果的なCRM施策の実行を支援する。

併せて、オプションとして観光・レジャー施設のCRM戦略を強化し、運営の効率化を実現する有料コンサルティングサービスも提供している。

グッドフェローズJTBは、グッドフェローズとJTBの共同出資で2020年に設立された。

防災地下神殿でツーリズム推進
東武トップ

東武トップツアーズは、国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所と春日部市役所と協力し、治水施設「首都圏外郭放水路」（埼玉県春日部市）を活用した本格的な防災ツーリズム事業を開始した。この取り組みを通じて、防災意識の向上と年間来場者数増加を目指す。

首都圏外郭放水路は、埼玉県春日部市にある世界最大級の地下放水路。大雨や台風による洪水を防ぐため、中小河川の増水した水を地下に流し、江戸川へ排水する役割を持つ。地下50㍍地点に広がる全長約6・3㌔の巨大構造から、「地下神殿」とも称される。

発表された計画では、①災害の自分事化を推進②光と音の異次元体験③第3立坑新規公開④マインクラフトの世界で再現⑤小学生向け探究学習プログラムの開発⑥多言語翻訳システム導入⑦謎解き探検イベント開催⑧地域周遊型観光の展開―の8施策を導入。世界的に高い人気を誇るサンドボックス型のゲーム「マインクラフト」を活用した学習コースなどを展開する。

ベトナムの2大学と人材育成、就業で協定
日旅

日本旅行はこのほど、ベトナムの2大学と同国人材の育成、日本国内における就業機会の提供に関するパートナーシップ協定を締結した。海外の大学との協定はキルギス、ウズベキスタンに続き3カ国目。今後、ベトナム人大学生のインターンシップや就職を日本の宿泊施設、観光事業者などにあっせんする。

ハノイ工業大学、ホーチミン市工業大学の2大学と協定。内容は①日本市場における人材雇用の認識向上②日本企業によるベトナム人材の採用支援③技術開発と労働力の流動化に関するセミナーとワークショップの共同開催④ベトナム社会主義共和国における日本語教育の促進⑤パートナー企業、業界団体、政府関係省庁への相互紹介⑥その他の協力分野の拡大―。

ひたちなか鉄道の観光列車に乗車
読売旅行がツアー

読売旅行は、ひたちなか海浜鉄道（吉田千秋代表取締役）と連携して、5月から運行が予定されている観光列車「ほしいも列車王国ラッピングトレイン」に乗車するツアーを販売する。同列車は令和3年度観光庁補助事業で両社が連携して実証運行した「ほしいもカフェトレイン」をベースにしており、公募された「ほしいも列車王国」のキャラクターや「ほしいも型つり革」が採用されるなど列車のデザインも話題性に富んでいる。

ツアーのラインアップは、5月10日の運行開始日に合わせた「新・ほしいも一番列車で行く！白本一のほしいもの里『阿字ヶ浦』ほしいも作り体験とSNSで話題のほしいも神社・ひたちなか海浜鉄道1日フリー切符の旅」（1人1万円、JR常磐線勝田駅集合解散、先着24人）や、「キハ100―40新・ほしいも列車運行開始記念『那珂湊車両基地』撮影会」（1人1万円、JR常磐線勝田駅集合解散、先着40人）など。

読売旅行は、ひたちなか海浜鉄道や沿線の事業者・関連団体とともに、今後も地域資源であるほしいもを活用したツアーを実施。国営ひたち海浜公園へのひたちなか海浜鉄道延伸計画の早期実現も後押しする。

関空で手荷物預かりホテル配送サービス
日旅が万博期間中

日本旅行は大阪・関西万博の期間中、関西空港駅で手荷物一時預かり、ホテル配送サービスを行う。JR西日本、ジェイアール西日本マルニックスとの協業で、「Crosta関空」のブランド名で行う。

4月10日から10月13日までの、一時預かりは午前9時から午後8時まで。ホテル配送サービスは、関空からホテルが申し込み締め切り午後2時、ホテル受け取り同7時以降。ホテルから関空が申し込み締め切り午前9時、関空受け取り午後3時～7時30分。

料金は一時預かりが千円。ホテル配送サービスがSサイズ（3辺合計115㌢以内）2500円、それ以外4千円。1日当たり100個の取り扱いを見込む。

脱炭素でスマートな旅館

国際観光施設協会　エコ・小委員会　47

この冬の降雪は多く、苦労された読者も多いことだろう。地球温暖化により海水温が上昇しており、海面からの水蒸気量が増えることから今後も降雪・積雪量が増えると予想する専門家が多い。

ところで、わが国の法律が指定している積雪地や豪雪地の面積の比率をご存じだろうか？　雪寒法（積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法）で、国土面積の62%を積雪寒冷地域に指定している。豪雪地帯対策特別措置法だと、国土面積の約半分を豪雪地帯としている。

地域や季節などにより雪質や降雪量が変化することから融雪技術は難しい面がある。

それより融雪効果に対するイメージが、住んでいる場所や立場、経験などにより異なり、話がかみ合わないことも多い。雪が多少残っていても路面が凍結しなければ良いとか、降雪から数時間後には路面に雪が残らないようにしたいとか、融雪の効果に期待するものはまちまちだ。

かつて、地下水をくみ上げて散水して消雪する方法を採る事例が多かった。しかし、地盤沈下による地下水のくみ上げ規制が強化されたことからかなり減った。減少した原因は地下水くみ上げ規制だけでない。散水消雪は、道路の端部の歩行エリアが凍結しやすかったり、水跳ねがしたりする。保守管理に手間が掛かることも散水消雪が減じることにつながった。

散水消雪方式の縮小に代わり、路面の下に融雪用の配管を敷設する無散水式の融雪システムが増える。かつて、無散水融雪システムは重油や灯油、都市ガスなどを燃料にボイラをたき、温水を作り、路面下部の配管に温水を循環させる方式が主流であった。路盤の下に電熱線を埋め込む融雪システムも使われた。

地球温暖化防止が叫ばれ、世の中が脱炭素や脱化石燃料に向かい、未利用熱を活用した無散水融雪システムに注目が集まる。河川や湖沼、海水熱、温泉排湯熱や下水熱などの利活用技術が発達した。例えば、国土交通省は、2002年に福島県の猪苗代湖の脇を通る国道49号線の融雪に、湖水熱を熱源とするヒートポンプ融雪システム（PHES）を導入した。

外気温や風速、降雪量などの気象条件により全ての場所に適応できる訳ではないが、多くの地域で地中と路面融雪を配管でつなぎ、不凍液を含んだ水を循環させるだけで、融雪が可能なシステムがある。図の地中熱利用無散水融雪システム（BHES）である。エネルギーに掛かるコストは循環ポンプを稼働させる電気代のみだ。熱源には自然エネルギーだけを利用することからフリーティング融雪システムとも呼ばれる。保守管理も容易である。

長野県飯山市内の公道に導入した事例（融雪面積1588平方㍍）では、電熱線システムに比べて、消費電力量が86%削減した。福島県福島市内飯坂にある民間の廃棄物処分場構内道路は、第1期のボイラ熱源方式と第2期のBHES（融雪面積4490平方㍍）との比較で、二酸化炭素排出量を93%も削減できた。

地中熱利用無散水融雪システム（BHES）は、財布（ランニングコスト）にも、地球環境にも優しい。

（国際観光施設協会エコ・小委員会委員、東北文化学園大学客員教授、元・福島大学特任教授　赤井仁志）

※隔週掲載

コストダウンと脱炭素の切り札・地中熱　その6
～地中熱利用融雪システム（BHES）で93%OFF～

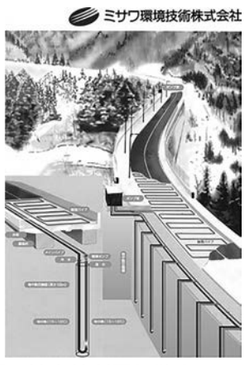

図　地中熱利用無散水システム・BHES（Borehole Heat Exchange System）〔ミサワ環境技術ホームページから〕

「和」の旅館文化を世界に伝える
日本旅館国際女将会

北海道　登別温泉郷 滝乃家　須賀 紀子
山形　深山荘高見屋　岡崎 純子
山形　展望露天の湯 有馬館　須藤 佳子
宮城　南三陸 ホテル 観洋　阿部 憲子
宮城　ホテル松島大観荘　磯田 悠子
福島　四季彩一力　小口 潔子
福島　雨情の宿 新つた　若松 佐代子
栃木　本家伴久　伴 真澄美
群馬　金盛館せゝらぎ　須藤 美由貴
群馬　如心の里 ひびき野　養田 博美
群馬　万座温泉日進館　宮田まいみ
栃木　鬼怒川温泉 あさや　八木澤 美和
茨城　五浦観光ホテル　村田 和華子・村田 知世
神奈川　箱 根 吟 遊　太田 清子
神奈川　箱根パークス吉野　西島 亜由子
静岡　白壁荘　鈴木 裕香
静岡　観音温泉　鈴木 和江
静岡　黒船ホテル　山本 未姫
石川　かよう亭　上口 和子
愛知　平野屋　平野 志保
岐阜　下呂観光ホテル しょうげつ　長坂 正恵
富山　ホテル黒部　中島 ルミ子
和歌山　冨士屋　小渕 祥子
奈良　古都の宿 むさし野　山下 育代
京都　松園荘 保津川亭　奥村 純子
兵庫　紅葉館 別庭 あざれ　松本 富子
鳥取　皆生つるや　宇田川 富美江
鹿児島　指宿白水館　下竹原 成美
熊本県　黒川温泉 ふもと旅館　松崎 久美子

お問い合せは 観光経済新聞社内 日本旅館国際女将会事務局
TEL.03-3827-9800　FAX.03-3827-9730　e-mail : info@kankokeizai.com
外客誘致と海外ポスピタリティ研修で1995年から活動しています。
Japan. Endless Discovery.